

歴史教育者協議会・日中交流委員会 実践交流会

近代東アジアと日本・中国

—歴史総合の授業づくりにむけて—

今年は、日本と中国が国交を回復して50年になる節目の年です。そして、4月から高校で新科目の歴史総合が始まります。

歴史総合でどのような授業をするか模索している方。日中国交回復50年や戦後の日中関係史をテーマに授業をやってみようと考えている方。また、現代中国の歴史教育や教育事情などに興味がある方は、ふるってご参加ください。



〈南京での授業交流の様子〉

開催日時 2022年5月7日(土) 14:00~17:00

開催方法 Zoomによるオンライン形式

参加費 無料

参加方法 4月30日(土)までに、下記、申し込みメールアドレスまでメールにて申し込み下さい。

報告者

史料紹介・授業案 黄尊三の日本留学日記

大川沙織(立命館宇治中学校・高等学校)

日清・日露戦争を授業でどう扱うか

—研究状況と『歴史総合』教科書の検討—

住司憲史(都立八王子東高校)

問い合わせ・申し込み先 歴史教育者協議会・日中交流委員会事務局

kazuharu@n-fukushi.ac.jp (担当: 齋藤一晴)

申し込みを行った方には、ZoomのURLを後日連絡させていただきます。

日中交流委員会の今後の取り組み 私たちと一緒に活動してみませんか?

①8月6日、歴教協全国大会・地域に学ぶ集いにおいて南京の先生方と遠隔交流を予定

②2022年末に南京の先生方と現地対面もしくは遠隔交流を予定

③毎月、打ち合わせを行っています。私たちと一緒に活動してみませんか?

可能な方は、齋藤までお知らせ下さい。メーリングリストへの登録やZoomURLをお伝えします。

④南京の現地で歴史を学び、高校生たちと授業交流することで、日々の授業の幅を広げてみませんか?